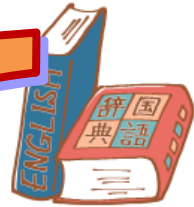


ナーシングニュースレター



平成 29 年 7 月 19 日

荘内病院 看護部発行 No62

テーマ

“地域包括ケアシステムの構築と医療連携の推進”

地方における医療はより効率化が必要とされ、地域医療機関と、介護施設の連携をより強固にしなければならない。これからの医療と介護について多くのヒントを得て大きな力となる会であるよう期待する。

開会のあいさつ

三科武 院長

特別講演

東京医療保健大学副学長・看護学科長
日本看護協会 前会長

坂本すが 氏



盛り上がった
鶴岡の地
7/15

担当病院

鶴岡市立荘内病院

第14回日本医療マネジメント学会
山形県支部学術集会

看護職として「地域包括ケアシステム」をいかに機能させていくか、患者のLifeを支える為、多職種との連携から医療チームの「統合」が今後は必要であるという。

坂本すが先生に頂いた、笑顔と力強さ、感動を新たに“ふたつの手”（自分と他人を助ける手）と看護職の“ひととなり”を大事にして、これからも頑張っていきたいものです。



ランチセミナー

社会医療法人北斗地域包括ケア推進センター長
日本ホスピス・在宅ケア研究会理事長
日本在宅医療学会理事

蘆野吉和 氏

最後まで人間として尊重され、その人生がその人なりに全うできることを目標に地域医療の提供が必要である。生活者として捉え、いかに関わっていくか、医療従事者としてしっかりと考えていかなければならない。

近年にない人が集う！盛大な学術集会！！
県内各施設より他職種が約400人参加！！
全職員の理解と協力に感謝いたします！！

当院からの発表
一般演題5題
シンポジウム1題

病院総力をあげ！
特に
看護部の力は強し！

